



こくさいこうりゅういん

国際交流員の おすすめ本^{ほん}

2021年
雪どけ号

Have you read this book?

この本^{ほん}を読^よんだことがありますか？

Willkommen in der
Welt des Buches!

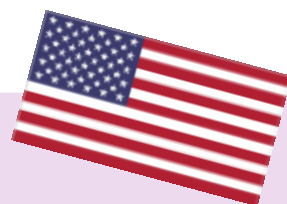
本^{ほん}の世界^{せかい}へようこそ！

Рекомендую эту книжку!

この本^{ほん}おすすめですよ！



世界のほんを 読んでみよう!



Hello! (ヘロー) 札幌市のアメリカ国際交流員、
Joshua Crotts (ジョシュア・クロッツ) です。
今回は私が子どものころに大好きだった本を紹介したいと思います。

マジック・ツリーハウス シリーズ

マジック・ツリーハウスのシリーズは、私が子どもの頃に大好きだった本で、初めて自分で読んだチャプターブック(児童小説)でした!

図書館にも、このシリーズの本がたくさんあります!

英語バージョンもありますので、ぜひチャレンジしてみましょう!

日本語版の絵は、英語版とは違うアーティストが描いたものなので、同じ本のカバーを見比べてみるのも楽しいと思います!

シリーズのどの本もテーマは違いますが、ストーリーは繋がっているので、順番に読んでいくのがおすすめです!

日本が舞台のお話も
あります!



保護者の方におすすめポイント

これらの本は、すべての年齢の読者に適しており、大部分が教育的なものです。短くてシンプルな物語の文章は、大人には面白くないかもしれませんが、多くの子どもたち(私も含めて)は、マジック・ツリーハウスシリーズで文章の読み方を学びました。

シリーズ第1弾では、ジャックとアニーは人懐っこい恐竜達に出会い、それぞれの恐竜についての科学的な事実をいくつか集め、想像力を働かせていきます。



『マジック・ツリーハウス 恐竜の谷の大冒険』
メアリー・ポープ・オズボーン (J93/オ/1)

『恐竜の谷の大冒険』

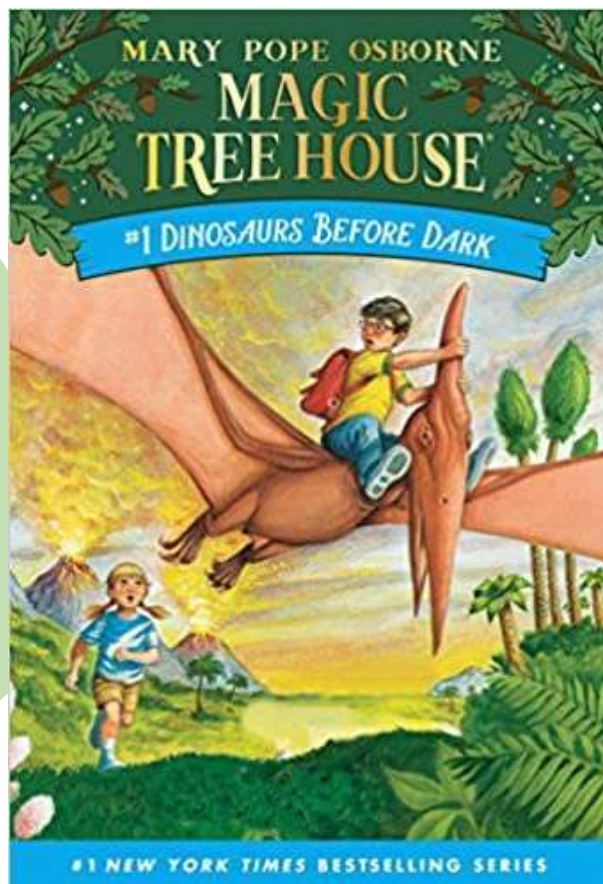
マジック・ツリーハウスシリーズの第1弾です!

このツリーハウスはいったいどこから来たのか？
ジャックとアニーがそれを知る前に、不思議なツリー
ハウスは白亜紀の時代に彼らを連れて行ってし
まいます。

今すぐ彼らは家に帰る方法を見つけなければな
りません。暗くなる前に帰れるのか...それとも
恐竜の夕食になってしまうのか...

中央図書館では1階のこどもの森に日本語
版の『マジック・ツリーハウス』を、2階の
外国語資料コーナーに英語版の『MAGIC
TREE HOUSE』を所蔵しています。

簡単な英語で書かれているので英語学習
にもおすすめです。

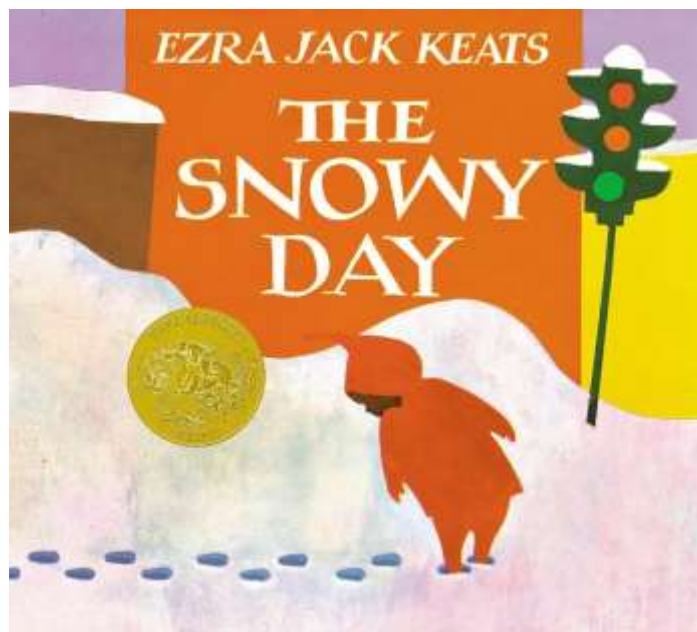
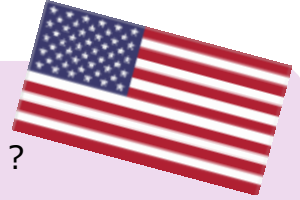


『MAGIC TREE HOUSE #1 DINOSAURS BEFORE DARK』
Mary Pope Osborne (YA933.7/OS/1)

せかいのえほんを よんでみよう！



ゆきの うえを あるくおとは にほんごで なんといいますか？
えいごでは Crunch (クランチ) といえます！



『THE SNOWY DAY』
EZRA JACK KEATS 作 (JY/SN)

みなさん ゆきで あそぶのは すきですか？
あとすこしで たのしい ゆきは とける かもしれない けど
このほんで ゆきの せかいを たのしもう！

保護者の方におすすめポイント

『THE SNOWY DAY』は、1962年にエズラ・ジャック・キーツによって書かれ、イラスト化された作品です。1963年にはカルデコット・メダル(コールデコット賞)を受賞しました。

シンプルな英語で書かれているほか、理解しやすいようにカラフルなイラストも添えられており、簡単な英語に触れるのに適しています。

図書館には日本語訳の『ゆきのひ』もありますので、あわせて読むのもおすすめです。

世界のほんを 読んでみよう！



みな
皆さん、こんにちは！Здравствуйте! (ズドラストヴィチェ)

さっぽろし こくさいこうりゅういん
札幌市ロシア国際交流員のАлёна (アリョーナ) です。

こんかいしょうかいほん
今回紹介する本には、とてもまじめな子と才能がいっぱいある猫と犬が登場し
ます。かれらの暮らしについて楽しく読みましょう！



『フョードルおじさんといぬとねこ』(J98/ウ)
エドアルド・ウスペンスキー／作

ねーねー！あのおとこのこしてる？

フョードルおじさんとよばれてるんだ！

6さいなのに、おじさんなんて…とおもうでしょ！

じつはね すごい かしこくて、なんでも できる から、
こう よばれているんだ。だって ママに ネコを かう こと
を はんたい されて いえを でて むらで くらすよう
になったんだよ。

でも ひとり ぐらし じゃなくて にんげんの ことばを
しゃべる ネコのマトロスキん と イヌのシャーリクと ipp
しょだよ。かじを したり やさいを つくったり たからもの
を さがしたり…

しょうねんと イヌと ネコの むらでの ふしぎな せい
かつのおはなしを よんでみよう！

保護者の方におすすめポイント

ある日、フョードルおじさんは人間の言葉が話せるネコに出会いました…という面白い書き出しから始まる本です。筆者のエドゥアルド・ウスペンスキーは、旧ソビエト連邦出身の児童文学作家で、ソ連(ロシア)だけではなく世界で愛されている数多くの作品を生み出しました。ウスペンスキーという名前を耳にしたことがない方にとっても、きつとなじみのある作家だと思います！なぜなら、有名な「チェブラーシカ」を考えた方ですから。

フョードルおじさんとその仲間たちのお話は、日々の暮らしを丁寧に優しく描いたシリーズ物で、ユニークなキャラクター、子どもにも大人にも通じるユーモア、面白さがたっぷり！本作品は大ヒットとなって、アニメ映画化されました。時代が変わった今でも登場人物のセリフはよく引用されています。

世界のほんを 読んでみよう！



Hallo! (ハロー)

ドイツから来た国際交流員の Oliver Gierl (オリヴァー・ギール) です！

今回紹介する本でどんな生き物に出会えるか想像してみてください！

現実世界で会うことが難しいけど、こちらの本を読んだら身近に感じることができます！



古いお城に住む小さいおばけは、いつも真夜中の12時に目を覚まし、お城の中で遊んだり、ミズクのシューフーという友だちとおしゃべりしたりします。

ある日、昼の世界を見たいという願いがかなって、小さいおばけはなぜか昼間に目が覚めてしまいました！

最初は喜んでいたおばけですが、お城から町へ下りたら、追い回されるし、大きな勘違いをしてしまうし、夜おばけに戻りたくなります。

助けてくれるのはだれでしょう？

『小さいおばけ』(194/ブ)

オトフリート・プロイスラー作 フランツ・ヨーゼフ・トリップ絵

保護者の方におすすめポイント

可愛くて好奇心の強い小さいおばけの冒険とドイツのお城や街並みの描写が読者の想像力を働かせます。子どもに読み聞かせながら、親子で楽しめる魅力的な作品ですが、全ての漢字に振り仮名が振ってありますので、小学生一人でも読めます。

ドイツを代表する児童文学作家の一人、オトフリート・プロイスラーは、32 作以上の児童書を執筆し、世界各国で多くの文学賞を受賞しています。『小さいおばけ』の他に有名な作品は『大どろぼうホッツェンプロッツ』、『小さい水の精』や『小さい魔女』などです。

妖精やおばけのような不思議な存在が主人公になることが多い物語のネタは、プロイスラーの祖母が語ったボヘミア民話に由来するそうです。

本書のイラストは、プロイスラーの『大どろぼうホッツェンプロッツ』やミヒャエル・エンデ作の『ジム・ボタンの冒険』でも有名な挿絵画家フランツ・ヨーゼフ・トリップによって描かれたものです。

世界の本を 読んでみよう！



『魔法の声』 コルネーリア・フンケ
(S943.7/フ/1)

12歳のメギーの父モーには物語の中の物や登場人物を呼び出す力がある。彼は 9年前にその魔法の声で『闇の心』という本の登場人物をメギーの母親と引き換えに呼び出してしまったのだ。

ある日、その事情を知らされていないメギーの前に「ほこり指」という男が現れる。その男は、なんと、『闇の心』の登場人物だった！ほこり指の忠告にもかかわらず、メギーは父と叔母とともに、『闇の心』から飛び出してきた「カプリコーン」というもう一人の人物に連れ去られる。彼の狙いは何だろう？メギー達は無事に逃げられるのか？

保護者の方におすすめポイント

前回ご紹介した『はてしない物語』とまるで逆パターンで、本の物語の登場人物や物が現実世界に呼び出されてしまうのです。こんな力を持ちたいと思った方も多いでしょう。

『どろぼうの神様』や『竜の騎士』でも有名な作者のコルネーリア・フンケは、その面白い発想で夢中になるファンタジーを描き、複数の児童文学賞を受賞しました。『魔法の声』は現在 27 か国語以上に翻訳されており、世界的ベストセラーとなっています！

『闇の心』の世界をもっと知りたい方は、続編の『魔法の文字』と『魔法の言葉』でメギーたちと一緒にその中世ヨーロッパに似た異世界に飛び込むことができます！

ドイツでは、さらに今年の10月から第4部目の作品が出版される予定です。

中学生以上でしたら十分読める内容で、ファンタジーが好きな大人にもおすすめです！



「こくさいこうりゅういん」ってなに？

「国際交流員」は札幌のみんなが外国のことを知って
なかよくするためのお手伝いをしています。

今は韓国、中国、アメリカ、ドイツ、ロシア、フランスから
来た7人のお兄さん、お姉さんがいます。

みんなの知っている国は
いくつあるかな？



ほんをおしえてくれた「こくさいこうりゅういん」

アメリカ



ジョシュア・クロッツ さん

父の仕事の関係で、アメリカとヨーロッパのい
ろいろな町で暮らしてきました。
趣味はアメフトやラグビーなどのスポーツとク
ラシック音楽の演奏と鑑賞です。

ロシア



フェシナ・アリョーナさん

札幌の姉妹都市「ノボシビルスク」からきました。
高校生のときに初めて日本語を聞いて、言葉がまるで
歌のようだと思い、日本語を専門にしようと決めまし
た。趣味はカラオケと音楽鑑賞です。

ドイツ



オリヴァー・ギールさん

札幌の姉妹都市「ミュンヘン」からきました。
17歳で初めて日本の高等学校に留学し、1年間ホーム
ステイをしながら日本語を勉強しました。
趣味は語学学習、写真撮影、映画鑑賞です。

保護者の皆様へ

札幌市では、市民の皆様の異文化理解のための活動や、姉妹友好都市をはじめとした海外諸都市との交流、札幌市の国際関係事業の企画立案などのため、海外から「国際交流員」を招致しています。

札幌市国際交流員についての詳細は以下ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.city.sapporo.jp/kokusai/cir.html>

札幌市 総務局 国際部

※この冊子についてのお問い合わせは中央図書館利用サービス課（TEL512-7320）へ